

2026年5月1日
株式会社エフピコ

エフピコ・ニシザワが協働で 「ストアtoストア」の水平リサイクル促進

～2028年2月期までに「年間100t」のCO2排出量削減を目指す～

株式会社エフピコ(代表取締役会長:佐藤 守正、以下「エフピコ」)と株式会社ニシザワ(代表取締役社長:荒木 康雄、以下、「ニシザワ」)は、持続可能な循環型社会の推進に貢献するため、「エコストア協働宣言」を実施します。この宣言は、ニシザワの全11店舗を対象に、使用済み食品トレーやペットボトルを新たな容器に生まれ変わらせ、再び店頭で使用する「ストアtoストア」の水平リサイクル^{※1}を強化するものです。

両社は、『お店がその地域のエコリーダー』となることを目指し、地域の環境負荷低減とリサイクル資源の有効活用を積極的に行ってまいります。



●本取り組みの主なポイント

1. 「ストアtoストア」水平リサイクルの推進

ニシザワでは、全11店舗において使用済み食品トレー・透明容器・ペットボトルの回収を継続して実施しております。地域の皆さまのご協力のもと、店舗の回収ボックスで集められたこれらの貴重な地上資源は、エフピコの「トレーtoトレー」および「ボトルto透明容器」によって、新たな食品トレー・透明容器に生まれ変わります。ニシザワは今後も、再生された「エコトレー」などのエコ製品^{※2}を、再びニシザワの売り場で積極的に使用することで、お店を発着点とする循環型の水平リサイクル「ストアtoストア」を推進してまいります。

2. エコ製品の使用拡大とCO2排出量削減目標

ニシザワでは、2025年2月期において、エコ製品の使用によりCO2排出量を70t削減いたしました。この度の協働強化に伴うエコ製品のさらなる使用拡大により、2028年2月期には、「100t」のCO2排出量削減を目指してまいります。

エフピコとニシザワは、この「エコストア協働宣言」を通じ、目標達成に向けて協働を強化し、地域の皆さまとともに持続可能な循環型社会の実現に貢献してまいります。

※1 リサイクルの前後で用途を変えずに資源を循環させるリサイクル方法。

※2 回収された資源を原料とする「エコトレー」、「エコAPET」、「エコOPET」。

【ご参考】

<株式会社エフピコ>

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」「ボトルto透明容器」による地上資源の循環、及びCO2排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地: 〒163-6036 東京都新宿区西新宿6丁目8番1号新宿オークタワー36階

代表者: 代表取締役会長 佐藤 守正 / 代表取締役社長 安田 和之

設立: 1962年

H P: <https://www.fpc.jp/>

【リサイクル特設ページ】 [エフピコ みんなでリサイクル](#)

<株式会社ニシザワ>

所在地: 〒396-8501 長野県伊那市日影435-1

代表者: 代表取締役社長 荒木 康雄

設立: 1966年

H P: <https://www.nishizawa.co.jp/>

以上

【本リリースに対するお問い合わせ先】

■株式会社エフピコ リサイクル推進部 TEL:03-5325-7559 FAX:03-5325-7767